

台風16号の接近に伴う注意喚起

各種ニュース報道のとおり、台風16号が10月1日(金)には伊豆諸島に向い、関東地方に接近する予報が出ております。本号では、被害の発生・拡大防止に向けた事前の対策についてお伝えいたします。

1. 台風16号の進路予想

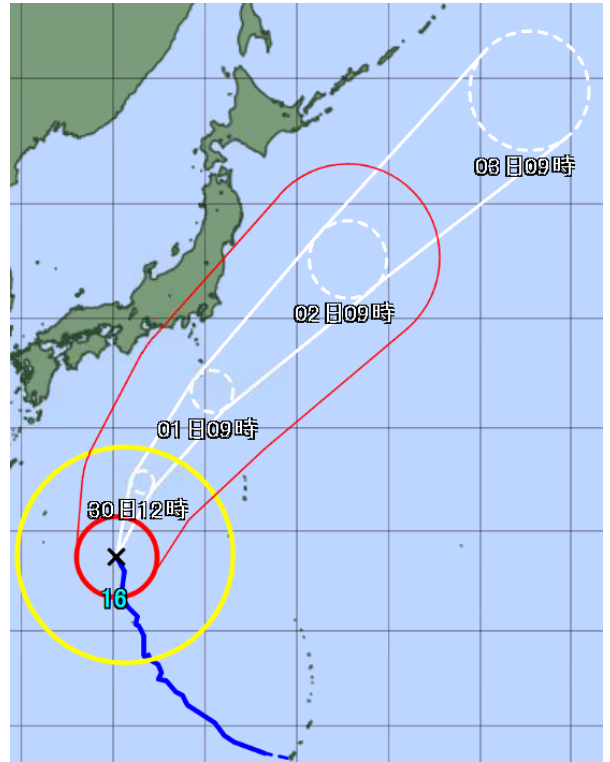
9月29日(水)12時50分の気象庁予報部発表によると、大型で非常に強い台風16号は、日本の南にあって、時速15km/hで北北西に進んでいます。中心の気圧は935hPa、最大風速は50m/s、最大瞬間風速は70m/sで、中心の北東側650km以内と西側560km以内では風速15m/s以上の強風が吹いています。

台風16号の現時点での暴風域は直径約370kmですが、今後拡大していき、伊豆諸島に接近する10月1日(金)の午前9時には、直径600kmという巨大な暴風域を伴うと見込まれています。

直径600kmは、関東から近畿までが覆われるほどの広範囲ですが、これほどの台風は珍しく平均しても年間1個あるかどうかです。伊豆諸島では記録的な暴風となるおそれがあり、大雨や高波にも厳重な警戒が必要です。

中心からやや離れた関東でも、今後72時間以内に暴風域に入る確率が高く、巨大な暴風域の影響により沿岸部を中心に30m以上の暴風が吹き荒れるおそれがあります。また、暖気と冷気の衝突によって、大雨となる懸念が高まっています。土砂災害・低い土地の浸水・河川の増水にご注意ください。

今後も最新の気象情報に注意頂き、明日30日(木)のうちに、前広な事前対策をお願いします。



台風16号の進路予想(9月29日12時50分気象庁発表)

2. 事前の対策について

台風・集中豪雨は一般的に平時からリスクを想定し、タイムラインに沿った防災行動計画の策定と、対策ツールの準備など、具体的に対策を検討・実行していくことにより減災が可能とされており。

週末に向けて、今一度、社内関係部署との連携方法や対策ツール類のご準備・すぐに取り出して使用できる状態になっているかといったご確認をお勧めいたします。

各現場でご使用いただける点検チェックシートを添付いたしましたのでご活用下さい。



【出典】気象庁 <https://www.jma.go.jp/jp/typh/> 本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。

編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。



マリントピックス バックナンバー